

平成21年度ブナ保護林（植物群落保護林）の拡充調査について（案）

ブナ保護林（植物群落保護林）については、第6回及び第7回生物多様性検討委員会において、拡充に当たっての検討方向について報告したところである。

拡充を検討するに当たり、平成21年度に下記の調査等を検討しているところである。

記

1 拡充調査を実施する保護林

- ① チリチリ川保護林（所在：上磯郡知内町、面積：30.24ha）
遺伝子レベルの調査の結果、近交係数が高く、サンプル木の近縁性が示唆される。
- ② 奥尻保護林（所在：奥尻郡奥尻町、面積：258.68ha）
他の保護林に比べ、この保護林のみに出現した対立遺伝子の数が多く、遺伝的に特異的なブナ林である可能性が高い。

2 拡充検討に当たっての調査概要

○周辺林分の林況調査

保護林の目的が達成できる面積の広がりをもとに、可能な限り確保できるよう、周辺ブナ林等の植生等の調査を実施

○遺伝子レベルの調査

拡充を検討する林分の遺伝子レベルでの調査を実施

○施業方法の検討

拡充区域内及びその周辺における人工林等について施業方法を検討

○機能類型の見直し

奥尻保護林については、保護林の拡充に加え、地元住民生活等に配慮した機能類型の見直しを検討

3 調査検討スケジュール

当森林計画区（渡島檜山森林計画区）については、平成21年度が森林計画の樹立年となっていることから、9月末を目途に調査を行うこととし、関係機関の意見を聴いて、21年度樹立の森林計画に反映する予定である。

なお、調査は委託事業とし、現在、林野庁に予算要求中である。